

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

161 特別支援学校管理事業		
[長期総合計画]		
分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	1	安心して子供を生み育てることのできる環境の整備
施策	1	安心して子供を生み育てることのできる環境の整備
取組方針	2	子供が健やかに育つことのできる環境づくり

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	教育総務費		
	目	教育振興費		
	大事業	教育振興事業		
中事業	特別支援学校管理事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	教職員課	梅野 作治 435-1196
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	西脇小・中学校みらい分校の児童生徒が日常的に学習に親しむことができる教育施設を確保することにより、心身の健全な発達等に供し、活力に満ちた学校生活を送れることを目的とする。		社会福祉法人虎伏学園の所有する施設設備を和歌山市立西脇小・中学校みらい分校として借り入れる。			
事業内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
		社会福祉法人虎伏学園の所有する施設設備を西脇小・中学校みらい分校として借り入れた。 5/1時点の児童・生徒数 小学校 8人 中学校 8人	社会福祉法人虎伏学園の所有する施設設備を西脇小・中学校みらい分校として借り入れた。 5/1時点の児童・生徒数 小学校 8人 中学校 11人	社会福祉法人虎伏学園の所有する施設設備を西脇小・中学校みらい分校として借り入れた。 5/1時点の児童・生徒数 小学校 8人 中学校 7人	社会福祉法人虎伏学園の所有する施設設備をみらい分校として借り入れ、児童生徒の教育活動を行う。 5/1時点の児童・生徒数 小学校 9人 中学校 9人	社会福祉法人虎伏学園の所有する施設設備をみらい分校として借り入れ、児童生徒の教育活動を行う。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	0	1,200	0
伸び率(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	795	2,305	2,314	2,314	2,318	2,318	2,398	0	2,398
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	795	2,305	2,314	2,314	2,318	2,318	2,398	0	2,398
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	0	1,200	0
所要人数(人)	正規職員	0.10	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29	0.30	0.00	0.30
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	使用料及び賃借料1,200千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
借上数		校	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	0%	%
成果指標	予算執行率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
			達成度(%)	100%	100%	100%	0%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	西脇小・中学校みらい分校の施設設備は必要不可欠のものであり、別のものに替えることは難しい。
見直し・改善内容	見直し・改善内容はない。